

請 願

請願第 1 号 県道山下飾東線と市道剣坂野条線の交差点の安全対策について

(請願趣旨) 県道山下飾東線と市道剣坂野条線との交差点において事故が多発しており、警察も一旦停止の取り締まりを再三行っているが、事故が発生している。また、小学生の通学路でもあるが、県道区間の道幅が狭く危険なため、10分余り遠回りしている。解決に向けて、一日も早い道路の拡幅工事と信号機の設置をしてほしい。

委員会審議 建設経済厚生常任

問 資料では、平成 27 年から 30 年まで年間 1 件ずつ人身事故があるが、去年は事故が 6 件に増えている。急に事故が多発した理由は。

答 (紹介者) 見た感じでは、30 年まで週に二、三回取り締まりが行われ、パトカーのサイレンがよく聞こえる状況でした。しかし、去年に入り、取り締まりが緩くなったせいか、ドライバーの一旦停止無視が多発したのではないかと思います。

問 これまでの安全対策は。

答 (執行者) 事故があるたびに、加西警察署、県加東土木事務所、市で協議を行い、路面表示や警戒標識等を設置してきました。昨年度、県道には「速度落とせ」の路面標示を行っています。市道には「止まれ」の路面標示を強調したり、速度抑制のためのドットラインを引いたり、「交差点あり」の警戒標識を設置しています。

問 市として、信号機設置の働きかけは。

答 (執行者) 信号機設置の要望は以前から行っており、直近では、昨年 11 月 20 日に市長から加西署長に要望しました。県公安委員会も現地確認し、事故は毎年 1 件程度と少なく、見通しはそれほど悪くないため、今のところ信号機設置は考えていないという回答でした。

討論 (賛成)

・過去に 2 件の死亡事故が起きており、これ以上、この場所で死亡事故が起こらないように信号機の設置や道路拡幅等、できる限り安全対策をとり、事故防止に努めていただきたい。

(委員会での議決結果) 全会一致で採択

※ 本会議最終日においても全会一致で採択し、その後、審議結果を市長に送付しました。

陳 情

陳情第 1 号 播磨内陸医務事業組合立播磨看護専門学校存続に関する陳情

(陳情趣旨) 昭和 51 年の開校以来、1,200 名余りの卒業生を数え、かなりの割合で圏域内の病院や施設に看護師を送り出してきた。就学環境が恵まれた公立の看護師養成学校がなくなれば、家庭や経済的事情により、看護師への道が閉ざされる方が出てくる。地域内に就職する安定性と継続性の低下、地元病院の負担の増加が危惧される等の理由から、身近にある播磨看護専門学校が存続するよう関係機関に働きかけてほしい。

委員会審議 建設経済厚生常任

問 看護師国家試験の合格率 100%が続いていることについて。

答 (陳情者) 少なくとも平成 26 年から 100%です。特に、学校の実習は圏域内の病院で分担しており、現場の看護師にとっても、実習が自己学習を促し、病棟や病院全体の質的な向上につながっていると思います。

問 小野市の動きにより、学校の廃止や民間に移管されるかもしれないと報道で知ったときの思いは。

答 (陳情者) 県内の看護大学や専門学校と比べても、播磨看護専門学校の教育内容と実習、国家試験の合格率は、引けをとりません。また、卒業生の中から看護協会が定める専門分野の認定看護師となり、圏域の看護の質向上に寄与しています。細やかな指導を通して、看護師を育成する役割は十分に果たしていると自負しています。

討論 (賛成)

・卒業生の 6 割以上、小野・三木を含めると 8 割以上が北播磨地域内の病院に看護師として就職しており、学校が地域医療を支えている。地域の安全・安心な暮らしを守るために、存続させていかねばならない学校である。
・これまでどおり運営しつつも、入学者の確保や講師派遣、市町の負担金、卒業後の受け皿の問題など運営のあり方について、引き続き、検討・見直していくという立場で賛成する。

(委員会での議決結果) 全会一致で採択

※ 本会議最終日においても全会一致で採択し、その後、審議結果を市長に送付しました。